

早期に緩解した夜尿症への鍼灸治療

加島郁雄

本症例は、半年後に行われる学校のお泊り会までに夜尿症を治したいと希望し来院した 8 歳の患者である。鍼灸治療を試みたところ早期に症状の緩解を認めたので報告する。

症例 男性 8 歳 小学校 2 年生

初診 平成 24 年 9 月 8 日

主訴 お漏らしを治したい

現病歴 生まれたときから毎日おねしょをしているので、毎晩おむつで寝ている。現在までお漏らしをしない日はない。両親も本人も年齢を重ねれば治ると思い、今まで何も対処してこなかった。しかし、半年後に学校でお泊り会があるので、それまでにおねしょを治したいと希望し祖母の紹介で来院した。

現在も乳幼児より夜尿が毎日続いている。夜間に目を覚ましてトイレに行くことはなく、漏らしてから目が覚めることもない。一度就寝したら目を覚ますことはなく、親が夜間起こすこともない。昼間の排尿は 6 回以上 10 回未満で、尿失禁はなく、尿意切迫感、頻尿、排尿困難、排尿痛もない。便通は毎日ある。冷え症、立ちくらみはない。性格はまじめで学校の成績は優秀である。親子、友人関係は良好でいじめもない。痙攣発作を伴う夜尿はない。多飲、口渇、体重減少はなく、小児糖尿病、尿崩症の既往はない。新生児・乳幼児の高熱持続による尿路感染症（おもに腎盂腎炎）、睡眠障害をきたす喘息、アデノイド、副鼻腔炎、アトピー性皮膚炎、脊髄炎、脊髄腫瘍、脊髄損傷、脳疾患の既往もない。その他一般状態は良好である。

カフェインを含んだお茶、紅茶、コーラを習慣的に飲んでない。スポーツは週 1 回水泳教室に通っている。

既往歴 特記すべきことはなし。

家族歴 父親（歯科医）が小児の頃、夜尿症であった。

診察所見 腹部の膨満、糞塊の触知はない。腰仙部に腫瘤、陥凹、異常発毛はない。手・足・腹・腰部の冷感はない。

診断 本症例を臨床症状、診察所見から一次性の夜尿症と診断した^{1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)}。

本症例に明らかな基礎疾患がないと考えられるため、鍼灸治療は適応と判断し、予後も良好と推測される。

対応 身体がまだ成熟しきっていないことが要因と思われる夜尿症と推測されます。鍼灸治療は体全体の機能を活性化させることが可能ですので、適応と思われます。経験上、このような夜尿症は鍼灸治療で治っておりますので通院してください。

治療・経過 鍼灸治療は血行促進による全身機能の活性化を目的に以下のように行った。

使用鍼はステンレス製1寸3分—02番(40mm—12号)を用いた。治療体位は仰臥位で復溜、中極、関元に約3mmそれぞれ刺入し10分間置鍼した。そして置鍼中、腹部を遠赤外線灯で加温しながら中極、関元に温熱灸で各1壮施灸を行った。つぎに伏臥位で腎兪、志室、膀胱兪に約3mmそれぞれ刺入し10分間置鍼した。そして置鍼中、腰部を遠赤外線灯で加温しながら腎兪、志室、膀胱兪に温熱灸で各1壮施灸を行った(図1)。

生活指導 これは治る夜尿症ですので、気にせずお子様を怒らないようにしてください。基本的に早寝、早起きを心がけて規則正しい生活をさせてください。日中は水分を十分にとらせてください。おしっこが漏れそうになったら、無理のない範囲で少し我慢してから排尿させてください。夕食は塩分をひかえて早めにすませ、就寝前3時間の水分摂取は原則としてひかえて、就寝前直前に必ず排尿させてください。

今晚から夜尿の記録を1週間ごとにまとめて相撲の星取表のスタイルで記録してください^{注1}。そして、今晚だけ膀胱括約筋の機能が正常かどうか確認をとりたいので、お子様が寝静まってからおむつが濡れているかどうかを10分ごとに6回チェックしてください^{注2}。

注1.「相撲の星取表スタイル」の夜尿記録²⁾

1週間ごとにまとめて、起床時に夜尿のないときは勝で白星○、夜尿のあるときは負で黒星●と記録する。(例、今週は4勝3敗で勝ち越し)

注2.「ドライタイム」の観察²⁾

子供が寝静まってからおむつが濡れているかどうかを60分間、10分ごとに6回チェックする。

おむつが濡れてべたべたのとき ×

おむつが湿っているとき △

おむつがドライ(乾燥)のとき ○

ドライタイムが60分続けば、膀胱括約筋の機能は正常と考えられる。

ドライタイムが30~40分の場合や×が続く場合は泌尿器科を受診させる。

最後に、お腹と腰の5か所(中極、関元、腎兪、志室、膀胱兪)に毎日お灸を1か所に2壮ずつお願いします。

第2回(9月15日、7日目) 前回から1回も夜尿はない。夜尿記録は7勝0敗。ドライタイムは60分間ドライで○、膀胱括約筋の機能は正常と考えられる。今回の来院時、すぐに付き添いの祖母から感謝の言葉をいただいた。患者も誇らしげにしているので「偉かったね」と褒めてあげた。治療は前回と同様。

第3回(9月21日、13日目) 今回も1回も夜尿はない。夜尿記録は6勝0敗。一昨日の早朝に排尿のため自分で目が覚めた。治療は前回と同様。

第4回(9月29日、21日目) 今回までの間、早朝に目が覚めないで2回お漏らしをした。夜尿記録は6勝2敗。患者から、就寝前3時間の水分摂取をひかえていなかったとの反省の言葉があった。治療は前回と同様。

第6回（10月19日、41日目）4回目以降、1回も夜尿はない。夜尿記録は20勝0敗。5日前からおむつをやめてパンツをはいて寝ている。主訴の消失が認められるので、今回で治療終了とした。患者はその後来院していない。

考察 本症例を機能的・一次性夜尿症と診断した^{1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)}。以下、その理由を述べる。

1. 乳児期より夜尿が続いている。
2. 昼間の失禁、尿意切迫感、頻尿、排尿困難、排尿痛がない。
3. 毎日便通があり、腹部の膨満、糞塊の触知もない。
4. 冷え症の自覚、手足腹腰部の冷感がなく、立ちくらみもない。
5. 性格はまじめで学校の成績は良く、親子、友人関係は良好でいじめもない。
6. 腰仙部の腫瘤、陥凹、異常発毛がない。
7. 痙攣発作を伴う夜尿はない
8. 多飲、口渇、体重減少はなく、小児糖尿病、尿崩症の既往はない。
9. 新生児・乳幼児の高熱持続による尿路感染症の既往はない。
10. 睡眠障害をきたす喘息、アデノイド、副鼻腔炎、アトピー性皮膚炎の既往もない。
11. ドライタイムが60分続いた。
12. 脊髄炎、脊髄腫瘍、脊髄損傷、脳疾患の既往もない。

なお、臨床症状および診察所見から以下の類症疾患を除外した。

1. 昼間遺尿症¹⁾

本症例に昼間の尿失禁はない。

2. 機能的排尿障害¹⁾

本症例に昼間の尿失禁、尿意切迫感、頻尿、中断排尿、残尿感、便秘、腹部の膨満、糞塊の触知もない。

3. 神経因性膀胱¹⁾

本症例に昼間の尿失禁、排尿困難がない。ドライタイムが60分続いている。腰仙部の腫瘤、陥凹、異常発毛がない。脊髄炎、脊髄腫瘍、脊髄損傷、脳疾患の既往がない。

4. 膀胱尿管逆流¹⁾

本症例は尿路感染症、腎盂腎炎の既往がなく、排尿痛、頻尿、昼間の尿失禁もない。

5. 尿道弁・尿道狭窄¹⁾

本症例に排尿困難、尿閉がない。

以上、臨床症状、診察所見および除外診断から本症例を機能的・一次性夜尿症と診断した。

帆足は、「夜尿症の原因は夜間の尿量が多い（抗利尿ホルモンの夜間分泌不足）、夜間の膀胱容量が未熟（不安定膀胱）、睡眠障害、心理的ストレス、膀胱や腎臓の器質的な異常などが複合して発生している」と主張している⁶⁾。そして、「夜尿症は多尿型、膀胱型、混合型の3タイプに大別できる」と述べている⁶⁾。

以上の知見より、本症例の原因は昼間の尿失禁がないことから夜間の膀胱容量が未熟（不安定膀胱）や膀胱や腎臓の器質的な異常が、乳児期より続いている夜尿があるため心理的ストレスが、それぞれ除外可能であるため結果として、夜間の尿量が多い抗利尿ホルモンの夜間分泌不足と尿意を感じても覚醒できない睡眠障害（覚醒障害）によるものが大きいと推測される^{1) 5) 6)}。

また、本症例のタイプは昼間の尿失禁がないことから、夜間の水分の摂りすぎや抗利尿ホルモンの分泌低下による多尿型タイプと推測される⁶⁾。

本疾患の適応について、帆足は「夜尿症の自然治癒率は、1つ年をとるごとに10～15%の割合で減少する。…約90%の子供で夜尿が治った時期は15歳」とし、また「夜尿症のタイプ別では、多尿型が最も治りやすく…」と述べている⁶⁾。さらに、臨床症状と診察所見から明らかな基礎疾患がないと考えられるため、本症例の鍼灸治療は適応と判断し、予後も良好と推測された。

今回の治療は初診から21日間、4回の治療で主訴の消失を認め、その後も安定していることから鍼灸治療が有効であったと考える。

参考文献1～2)、Webサイト3～7)

- 1) 寺島和光：夜尿症・昼間遺尿症・機能的排尿障害、「小児科医のための小児泌尿器疾患マニュアル改訂第2版」、P.45～51、診断と治療社、2009。
- 2) 川瀬昌宏：夜尿、「臨床医のための小児診療ハンドブック」、P.93～96、日経メディカル開発、2008。
- 3) <http://www.jsen.jp/guideline/> 日本夜尿症学会「夜尿症診療のガイドライン」
- 4) <http://www.twmu.ac.jp/KC/Urology/child/bedwet.html> 東京女子医科大学病院泌尿器科「夜尿症」
- 5) <http://www.urol.or.jp/public/sympton/09.html> 日本泌尿器科学会「おねしょ（夜尿症）が治らない」
- 6) http://www.kyowa-kirin.co.jp/onesho/school_excursion/sc08.html 帆足英一「夜尿症ナビ」
- 7) <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%9C%E5%B0%BF%E7%97%87> ウィキペディア「夜尿症」

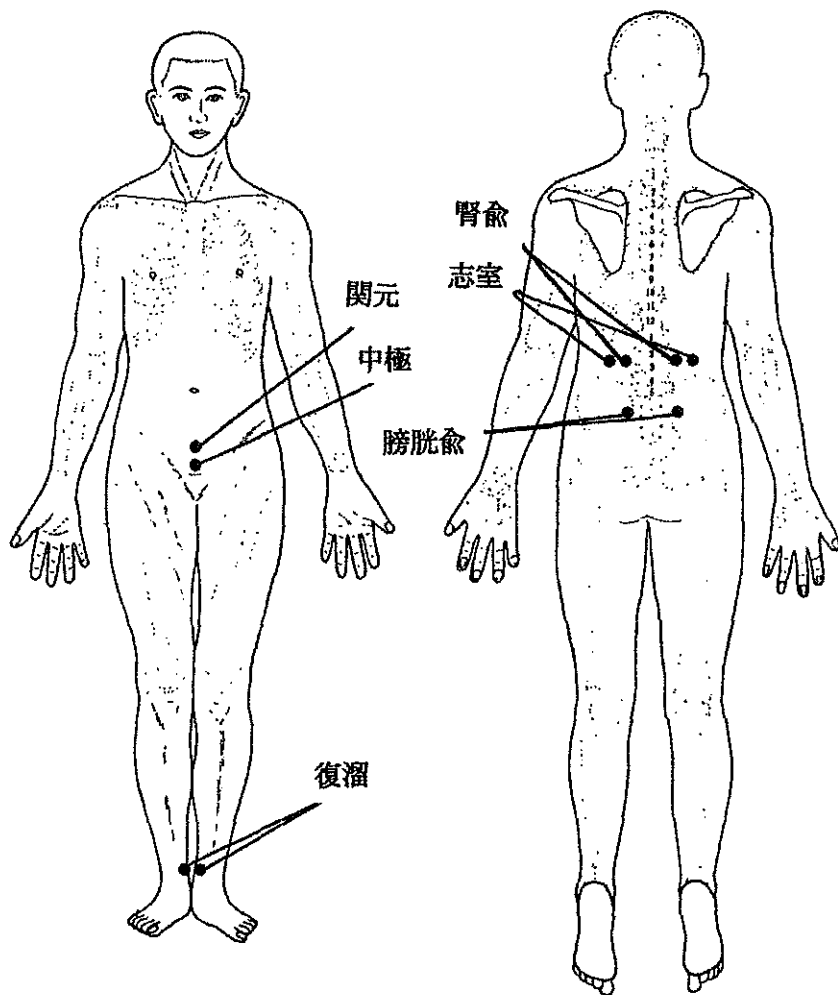


图 1.刺鍼・施灸部位